



特定非営利活動法人

きらめき未来塾

2025 夏期合宿 実施報告書



期間：2025年8月13日（水）～ 8月16日（土）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

主催：特定非営利活動法人 きらめき未来塾

目次

塾長挨拶	Page 2
1. 実施概要	Page 3 ~ 10
2. 実施結果	Page 11 ~ 25
3. アンケート結果	Page 26 ~ 41
4. 継続要因と運営課題	Page 42 ~ 45
5. 次回に向けて	Page 46 ~ 48
Photo Gallery	Page 49 ~ 63

変革の先駆者を目指して — 未来を切り拓く力を学んだ夏期合宿 —

このたびは、2025年度 きらめき未来塾夏期合宿が無事に開催され、盛況のうちを終了いたしましたことをご報告申し上げます。

参加者の皆さん、保護者の皆さま、そしてご支援くださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

今回の合宿では、最先端の生成AIに関する情報や、最新の県政運営の実績を学ぶプログラムを中心に構成しました。これらの内容は、塾生たちの関心に充分応えることができたと感じています。

また、実感に即した自己革新プログラムの演習も、塾生にとって新鮮な刺激となり、学びの深まりにつながりました。

大学生のサポーターたちの指導能力は非常に高く、相手の水準に添い、塾生たちと違和感のない関わり方をしている様子がよく見て取れました。彼らの柔軟な対応と温かな姿勢は、塾生にとって安心感を与えるとともに、学びの場をより豊かなものにしてくれました。

最終日には、「帰ったらきらめき未来塾にぜひ参加するよう、後輩たちに呼びかけたい」と塾生の方から何人かが口にしてくれました。この言葉からも、今回の塾の充実度が推し測られ、私たち運営スタッフ一同、大きな喜びと手応えを感じています。

最後に、本合宿の開催にあたり、多方面からご支援・ご協力を賜りました皆さまに、心より御礼申し上げます。

皆さまの温かいご支援があつてこそ、このような意義ある合宿を実現することができました。

今後とも、若者の学びと成長を支える活動へのご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

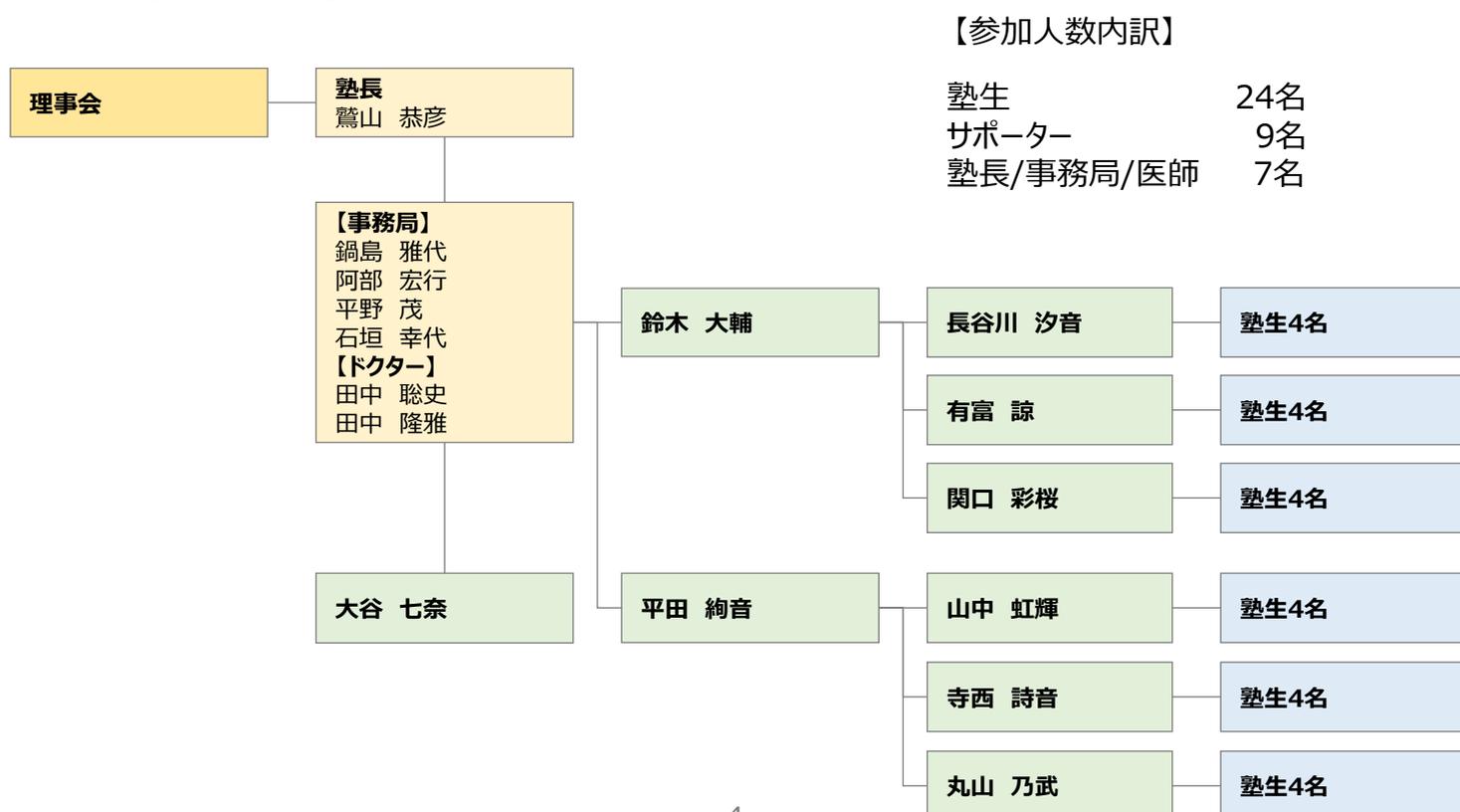
塾長 鷺山 恭彦

1. 実施概要

1-1 実施概要 ～ 募集要項・実施体制 ～

2025年 夏期合宿募集概要		備考
開催日	2025年8月13日(水)～8月16日(土)	
開催場所	国立オリンピック記念青少年総合センター	
合宿テーマ	未来を切り拓く力 ～変革の先駆者になるために～	
募集対象・人数	全国の高校生 30名	
募集期間	1次募集 2025年5月9日(金)～6月20日(金) 2次募集 2025年6月21日(土)～7月7日(月)	【応募者数】 ・1次×切 6名 ・2次×切 18名
応募資格	・2025年度に高等学校に在学しており、 塾のすべてのプログラムに参加できること ・共同生活が可能であること ・卒塾後レポートを提出すること	卒塾レポート提出期限 2025年8月30日(土)
必要書類	① 入塾申込書 ② 高校の推薦書 ③ 保護者同意書 ④ 志望動機(字数制限なし) ⑤ 作文(600文字) ⑥ 個人情報の取扱いについて	
選考作文テーマ	もし魔法の杖があったら、あなたはどんな未来を 創りますか？	熊平理事発案

● 実施体制 総勢40名



1-2 実施概要 ～ 募集について ～

塾生	
募集期間	1次 2025年5月9日（金）～2025年6月20日（金） 応募者 6名 2次 2025年6月21日（土）～2025年7月7日（月） 応募者 18名
募集方法	ホームページから必要書類をダウンロードし送付
募集媒体	①ウェブサイト掲載 ・おやこイベント.com ・Event Bank プレス ・校外プログラム大全 ・東京都アントレプレナーシップ育成プログラム推進事業 ②学校経由の案内 ・過去参加高校の243校へ開催案内架電後、ポスター・パンフレット送付 ③2024年度参加者への開催案内メール
理事の協力	①鷲山塾長 ・掛川西高校校長、飛龍高校校長、その他保護者への声掛け ②平野副理事長 ・Linkedinへの投稿 ・アデコ株式会社の社内外ネットワークへの配信 ・那須塩原市長、矢板市長へパンフレット送付 ③内村理事 ・板橋区の高校へお声掛け ④熊平理事 ・講演にて開催ご案内（株式会社コアネット様からパンフレット送付依頼） ⑤小山理事 ・進路指導室でのご案内 ⑥松田理事 ・東京都教育委員会へのお取次
サポーター	
募集期間	2025年5月27日（火）～2025年6月20日（金）
募集方法	ホームページから必要書類をダウンロードし送付
募集媒体	①アデコ株式会社川島香生氏 Linkedinへの投稿 ②アデコ株式会社今井陽子氏 埼玉大学での開催案内お声掛け

1-3 実施概要 ～ 夏期合宿メインプログラム ～

メインプログラム

DAY 1

● 『塾長講話』

学ぶことの大切さや「憧れ」が原動力となることを伝えます。

講師：鷲山恭彦



DAY 2

● 『IKIGAI Compass』

自分の「好き」「得意」そして「大切にしたいこと」を探り、未来を描く手助けをします。

講師：川島香生 今井陽子



● 『生成AIで世界はこう変わる』

AIの進化を学びながら、AI時代のキャリア形成に向けた視野を広げます。

講師：今井翔太



● 『ゲーミフィケーション』 THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス)

SDGsをテーマに社会課題と解決手段を組み合わせるストーリーを発表し、意外な組み合わせがイノベーションのきっかけになることを学びます。

講師：きらめき未来塾 事務局



DAY 3

● 『YCAP』 Youth Center Adventure Program

野外体験型教育で、協力して課題に取り組むことで、信頼関係・コミュニケーション力・論理的思考力・自己肯定感を育みます。

講師：国立オリンピック記念青少年総合センター YCAP事務局



● 『夢限りなく』 ～不可能を可能に～

逆境を乗り越えた実体験を通じて、困難に立ち向かう力と夢を追い続ける心の大切さを伝え、参加者に勇気と希望を届けます。

講師：蒲島郁夫



個人発表

DAY1

自分の「魔法の杖」をチームメンバーに共有し、他者の考えを知る

DAY2

講義を通じ、自分の「魔法の杖」を再考察

DAY3

個人発表に向けて、再考察しつつ、プレゼン資料作成

DAY4

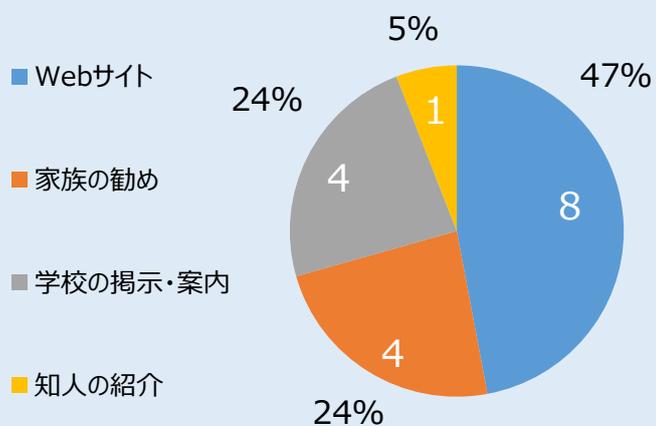


1-4 合宿スケジュール

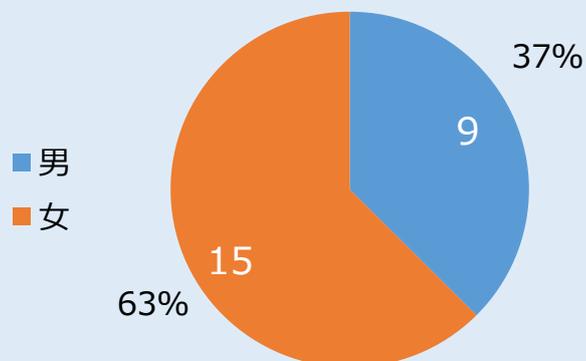
	8月13日(水) 1日目	8月14日(木) 2日目	8月15日(金) 3日目	8月16日(土) 4日目	
7:00				朝食	7:00
		朝食	朝食		
8:00					8:00
		講義1・前半 「IKIGAI Compass」 ～考える力を鍛えIKIGAIを考える 学生向け新感覚ビジョン～ 川島 香生 講師 今井 陽子 講師	野外アクティビティ 「YCAP」 Youth Center Adventure Program ～野外体験型の教育プログラム～	個人発表 「もし魔法の杖があったら、 あなたはどんな未来を 創りますか？」	
9:00				卒塾式 卒塾証書授与/塾長式辞/写真撮影	9:00
	塾生集合	昼食		解散	
12:00					12:00
	昼食	講義1・後半 「IKIGAI Compass」	昼食		
13:00					13:00
	入塾式				
14:00			講義3 「夢限りなく」 ～不可能を可能に～ 蒲島 郁夫 講師		14:00
	オリエンテーション/チェックイン	講義2 「生成AIで世界はこう変わる」 今井 翔太 講師			
15:00					15:00
	講話 鷺山 恭彦 塾長との交流	グループワーク① 「AIには不可能な人間の強みとは なにか？」	グループワーク② 「半導体産業の繁栄と平和利用を 考える」		
16:00					16:00
17:00					17:00
	夕食	夕食			
18:00			懇親会		
19:00					19:00
	チームビルディング	ゲーミフィケーション (SDGs)			
20:00					20:00
	個人発表準備	個人発表準備	アンケート記入 個人発表準備		
21:00					21:00
22:00	消灯	消灯	消灯		22:00

1-5 実施概要 ～ 塾生 (24名) ～

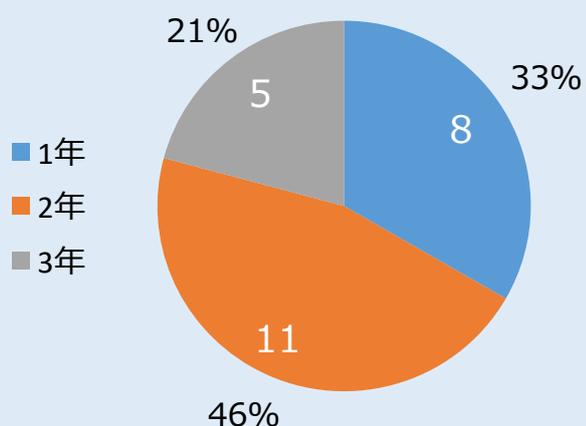
応募経路



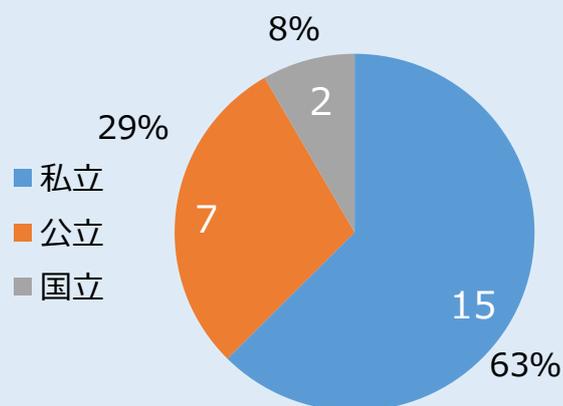
性別



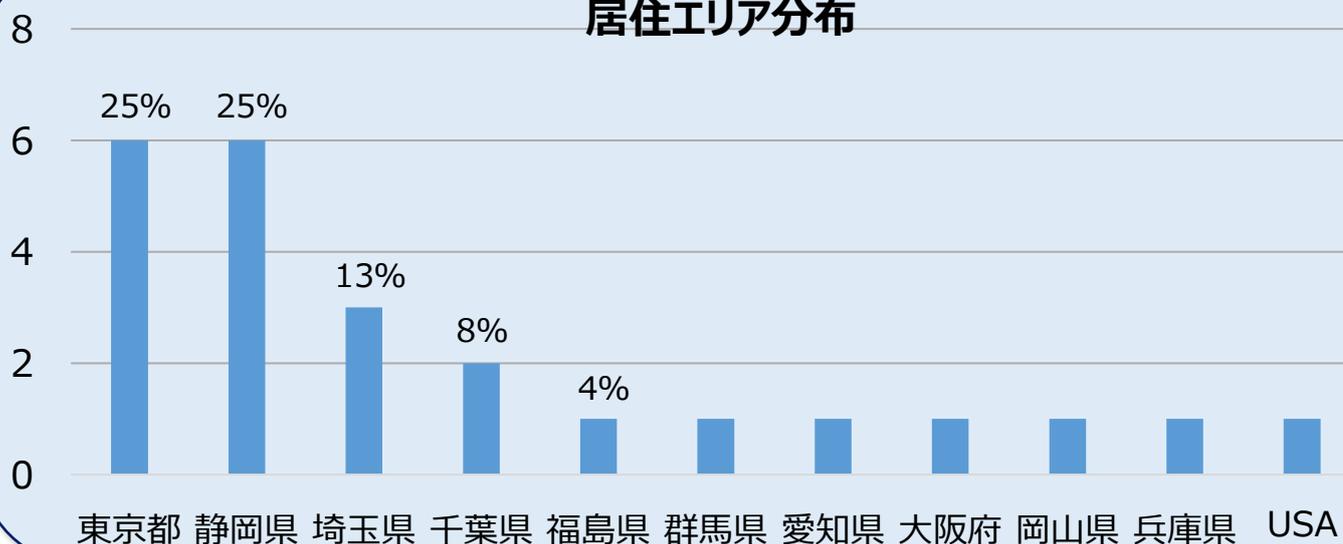
学年



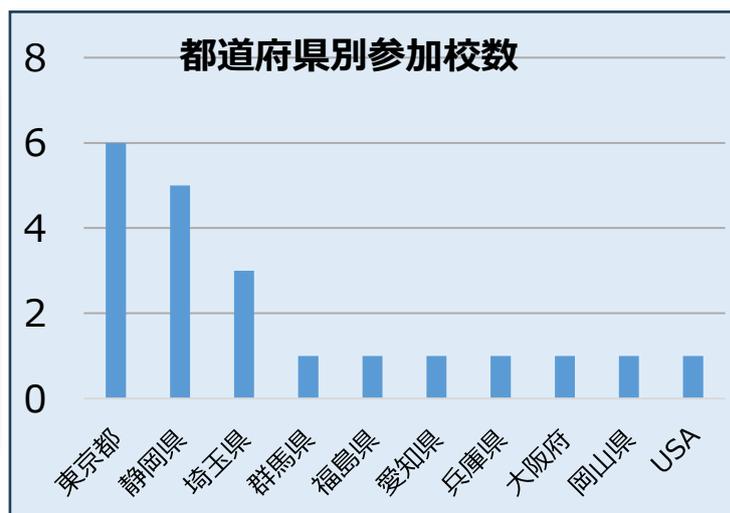
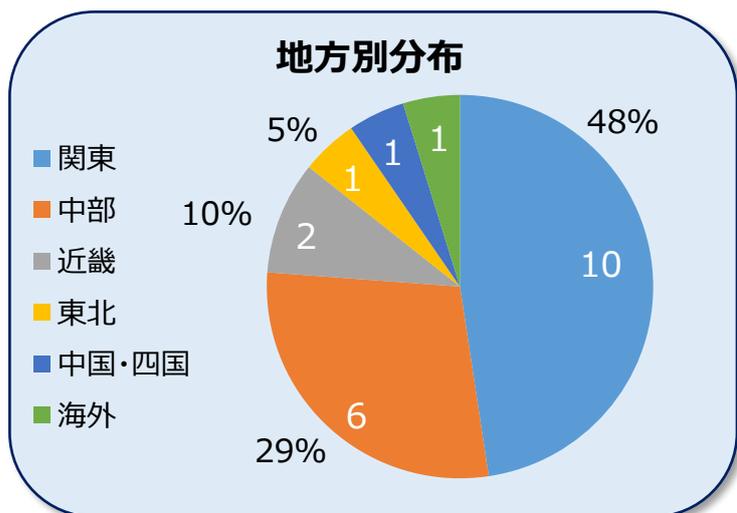
学校区分



居住エリア分布



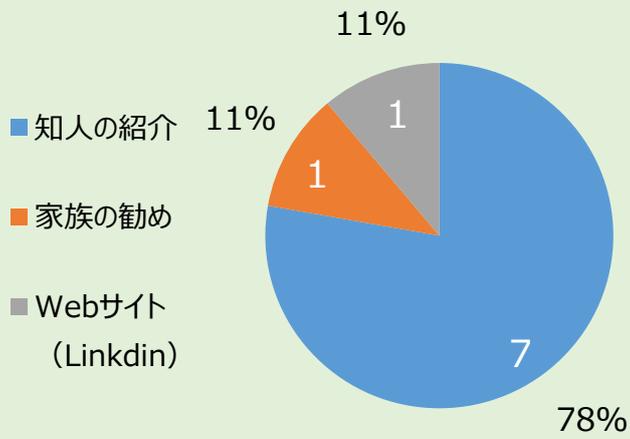
1-6 実施概要 ～ 塾生参加校一覧 (21校) ～



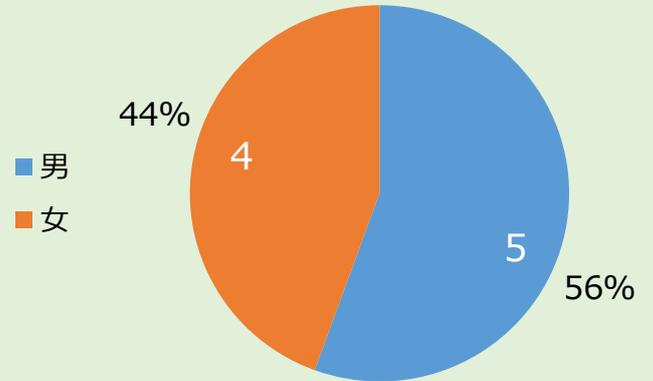
地方	エリア	学校名	人数
関東	東京都	東京都立大泉高等学校・附属中学校	2
		学校法人成蹊学園 成蹊中学・高等学校	2
		学校法人文化杉並学園 文化学園大学杉並中学・高等学校	1
		学校法人大妻学院 大妻中学高等学校	1
		学校法人学習院 学習院高等科	1
		学校法人小野学園 品川翔英中学校高等学校	1
	埼玉県	学校法人早稲田大学 早稲田大学本庄高等学院	1
		学校法人智香寺学園 正智深谷高等学校	1
		埼玉県立所沢高等学校	1
群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	1	
東北	福島県	福島県立磐城高等学校	1
中部	静岡県	学校法人沼津学園 飛龍高等学校	2
		静岡県立掛川西高等学校	1
		学校法人島田学園 島田樟誠高等学校	1
		学校法人星美学園 静岡サレジオ高等学校	1
		学校法人静岡理工科大学 星陵中学校・高等学校	1
	愛知県	国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校	1
近畿	兵庫県	学校法人須磨学園 須磨学園高等学校・中学校	1
	大阪府	国立大学法人大阪教育大学 大阪教育大学附属高等学校平野校舎	1
中国・四国	岡山県	学校法人金光学園 金光学園中学・高等学校	1
海外	USA	Bronx High School of Science	1

1-7 実施概要 ～ サポーター（9名）～

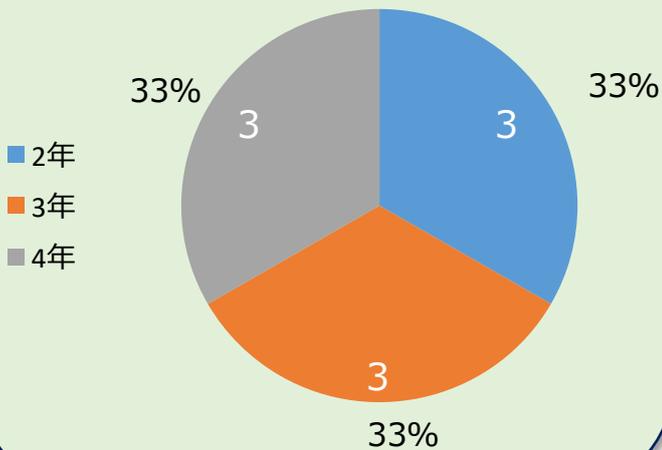
応募経路



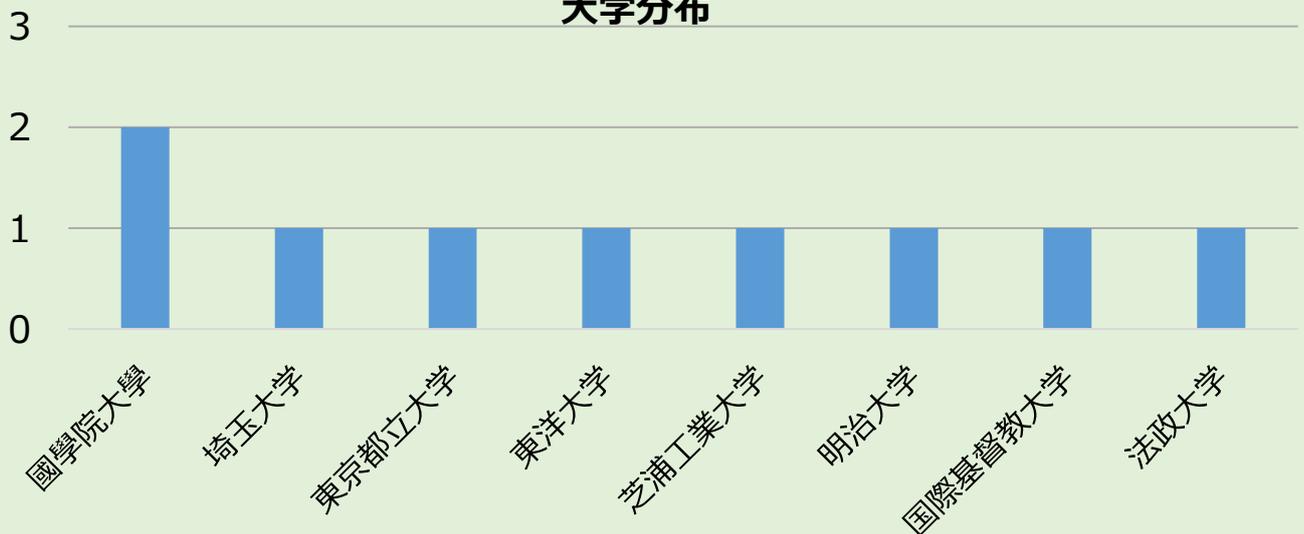
性別



学年



大学分布



2. 実施結果

2-1 実施結果 ～ DAY1 塾長講話 ～

● 講師



鷺山 恭彦

大日本報徳社社長
東京学芸大学 第10代学長・名誉教授
公益社団法人 日本教育会会長

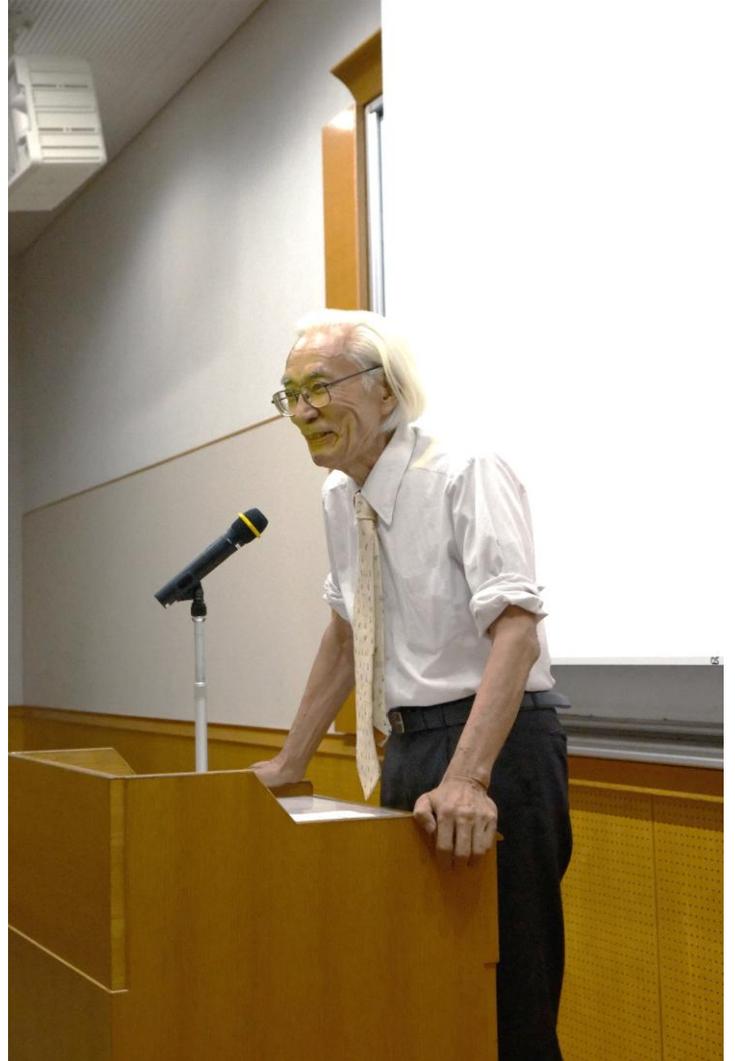
1943年 掛川市生まれ
東京大学文学部独語独文学科卒業。
同大大学院人文科学研究科修了。
元東京学芸大学学長。東京学芸大学名誉教授。
研究教育活動と並行し、様々な社会活動に参画する。
現在、大日本報徳社社長、世界文学会会長、松本亀次郎記念
日中友好国際交流の会名誉会長、かけがわ乳幼児教育未来学
会会長、公益社団法人日本教育会会長 他

● 講義概要

塾長講話

要旨	<ul style="list-style-type: none">• きらめき未来塾の理念は、挑戦する志を持ち、思いやりと文化理解を備え、世界と交流し、責任ある行動を実践する人材を育てること。• 学問とは「問うことを学ぶ」こと。知識の習得だけでなく、課題を発見し、自分の問題として追求する姿勢が重要。探究心が未来を切り拓く力となる。• 「万象具徳・以德報徳」の理念に基づき、すべての人や物に宿る良さを見出し、育て、社会に還元する。人徳は知識以上に人を惹きつける力となる。• 対立を円の中に入れて考えること（一元融合）で、共通点を見出し、敵をつくらない。ウクライナ・ロシア、パレスチナ・イスラエル問題にも通じる平和への視点。• 「人のために徹底して生きれない人が、どうして自分のために生きようか」。利他の心を持ち、動機を善を問い、誠実に生きることが人生の根幹。• 「憧れ」とは、自分の内なる力の予感である。
講義の構成	基調講話
塾生コメント	考えるための基礎となる思考に触れることができたことが、大変興味深いものだった。
振り返り	合宿の幕開けとなる最初の講義では、「学ぶことの根本」に立ち返る貴重なお話があった。塾生一人ひとりがこれからの学びに向き合う姿勢を整える、まさに合宿のスタートに弾みがついた。

2-1 実施結果 ～ DAY1 塾長講話 ～



2-2 実施結果 ～ DAY2 IKIGAI Compass ～

● 講師



川島 香生

アデコ株式会社 シニアエキスパート
キャリアコンサルティング技能士 2級
国家資格キャリアコンサルタント/EQ Profiler

2001年にアデコ入社後、営業職として21年従事。Spring Professionalでは新卒紹介部門の部長を務め、2022年から人事部門で新卒採用をリード。「キャリアは自ら切り拓くもの」との信念のもと、若者へのキャリア教育や大学・中高生支援にも尽力。日経BP主催大会の審査員や新卒向けコミュニティの立ち上げた。



今井 陽子

アデコ株式会社 IKIGAI Compassプログラムリード
国家資格キャリアコンサルタント/GCS認定プロコーチ
埼玉大学理工学部研究所教授

2000年にアデコ株式会社入社。営業・人事部門で新卒・中途採用を担当後、2021年よりAcademy事業部で管理職向けコーチングやキャリア支援に従事。2023年9月、埼玉大学大学院理工学研究科教授に就任（クロスアポイントメント協定に基づく）。

● 講義概要

IKIGAI Compass～考える力を鍛えIKIGAIを考える学生向け新感覚ビジョン～

要旨	自分の価値観や強み、関心を整理し、自己理解を深めることで、納得感のあるキャリアや人生の方向性を描ききっかけとする。
講義の構成	ワークショップ
塾生コメント	<ul style="list-style-type: none">自分の考え方の癖を知るといふ新しい発見ができた川島先生がご講義の外でも親しく話して下さった。内容も高1として進路を考えるのにとっても有用なものばかりだった。
振り返り	一度講義を受けた塾生から「自身の思考の凝り固まりに気づけた」という声もあり、継続的に受講すると新たな発見が得られる良い講義だと感じた。

2-2 実施結果 ～ DAY2 IKIGAI Compass ～



2-3 実施結果 ～ DAY2 生成AIで世界はこう変わる ～

● 講師



今井 翔太

北陸先端科学技術大学院大学（JAIST） 客員教授
博士（工学，東京大学）
AI研究者
株式会社GenesisAI 代表取締役社長

1994年 石川県金沢市生まれ

2024年 東京大学大学院 工学系研究科 技術経営戦略学専攻

松尾研究室におけるAIの研究で博士（工学）を取得。

人工知能分野における強化学習の研究、特にマルチエージェント強化学習の研究に従事。

2024年7月に株式会社GenesisAIを創業し、同社代表取締役社長/CEO就任。

著書『生成AIで世界はこう変わる』『AI白書』

『深層学習教科書 ディープラーニング G検定(ジェネラリスト)公式テキスト 第2版』

訳書『強化学習（第2版）』など。

● 講義概要

生成AIで世界はこう変わる

要旨	生成AIの進化により知的労働や社会構造が変化し、高スキル職も含め教育・制度の再設計が必要となる。
講義の構成	<ul style="list-style-type: none">・ 講義/質疑応答・ グループワーク「AIには不可能な人間の強みとはなにか？」
塾生コメント	<ul style="list-style-type: none">・ 生成AIについては、自分の興味をもっている分野であり、ずっと聞きたいと思っていたし、想像以上の講義だった。・ 今井さんの講義は、今まで触れてこなかった世界についてくわしく教えていただき、とても面白かった。
振り返り	講義直前にGPT-5が発表され、資料が古くなるほど生成AIの環境は日々変化し、成長が速いことが印象付けられた象徴的な講義であった。

2-3 実施結果 ～ DAY2 生成AIで世界はこう変わる ～

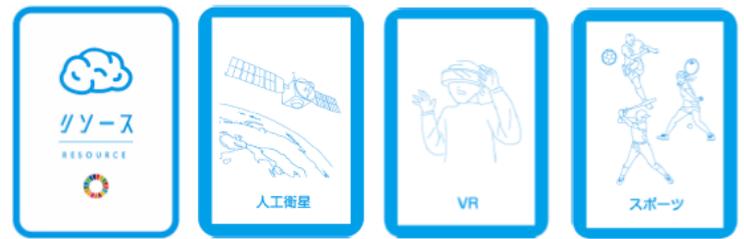


2-4 実施結果 ～ DAY2 THE SDGs アクションカードゲーム X ～

● ゲームの説明

トレードオフカード（SDGsの達成のために取り組む人々が悩んでいる課題）に記載された課題解決に向け、リソースカード（課題解決のために有効活用しうる人・モノ等）を組み合わせて解決案を考える。

<ゲーム例>



【トレードオフカード】
すべてのエネルギーを太陽光発電でまかなおうとしたら、
住む土地や農地までもがソーラーパネルで埋め尽くされそうになった

【リソースカード】
人工衛星 / VR / スポーツ



【解決策】

まず、太陽光パネルを設置できる未利用地・未利用空間を人工衛星やVRを使って探す。
次に、VRによって設置した時のシミュレーションを行い、太陽光パネルが設置されたことで
トレードオフが起きず、影も有効活用できる設置方法を考える。

最後に、皆が総力を結集し、設置をしていき、再生可能エネルギーの使用率を高める。
この一連の流れをオリンピックのようなスポーツ競技とすることで、世界中の都市で皆が切磋琢磨しながら、より持続的な都市を作っていくような仕掛けにする！

● 講義概要

THE SDGs アクションカードゲーム「X (クロス)」

要旨	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識だけに頼らず、みんなで楽しく未来や課題解決を考えることがSDGs達成には重要。 既存のリソースを組み合わせることでアイデアを生み出し、繰り返し実践することでイノベーションの力を養う。
講義の構成	グループワーク ※事務局主導
塾生コメント	SDGsのはアイデアを作りだして、ストーリーをつくったり、寸劇まで作りこんだのが楽しかった。
振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 自分では気づけない社会問題を知り、解決策の組み合わせの多様性を学ぶことで、最終日の個人発表へとつなげる目的で実施したが、塾生の柔軟な思考と創造力に驚かされた。 塾生に感化されたサポーターチームも問題解決ストーリーを発表することになった。全員が取り組める魅力あるプログラムとなった。

2-4 実施結果 ～ DAY2 THE SDGs アクションカードゲーム X ～



2-5 実施結果 ～ DAY3 YCAP 野外体験型教育 ～

● YCAPの紹介

野外体験型の教育プログラムを源流にアメリカで開発された「プロジェクトアドベンチャー」をベースとした体験型研修プログラム。

一見不可能とも思える様々な課題を仲間と共にクリアしていくことで、短時間でコミュニケーションの活性化や信頼関係の構築が図れます。また、論理的思考力の育成や肯定的な自己概念の形成も期待される。

＼ 新しい体験、新しい自分 ＼



● 講義概要

「YCAP」 Youth Center Adventure Program

要旨	<ul style="list-style-type: none">・ 屋内・屋外にて、塾生・サポーターが協力して難易度の高い課題に取り組む。・ 個人では、論理的思考力・発想力・情報収集力を養う「対課題スキル」や自己理解や意欲創出力を高める「対自己スキル」や、リーダーシップ・共感力・交渉力などを培う「対人スキル」を磨く。・ 組織では信頼関係の構築、新しいイノベーションの創造などのコミュニケーションの活性化の効果を期待する。
講義の構成	グループワーク ※オリンピックセンター所属の指導者主導
塾生コメント	<ul style="list-style-type: none">・ チームのメンバーと協力して高度な課題に取り組むことでメンバーの考え方の変化を見られて楽しかった。・ YCAPはとにかく楽しかったです。チームワークも深まったし、尊敬する部分を見つけたりしたのが大きかったです。
振り返り	塾生の満足度が高く、サポーターも支援に留まらず参加することでチームが活性化した。DAY1やDAY2での実施が理想とされていたが、2チーム合同で行ったことで、チームビルディングの学びにもつながる有意義なプログラムとなった。

2-5 実施結果 ～ DAY3 YCAP 野外体験型教育 ～



2-5 実施結果 ～ DAY3『夢限りなく』不可能を可能に ～

● 講師



蒲島 郁夫

東京大学先端研究所フェロー
前熊本県知事

- 1965年 4月 稲田村農業協同組合 勤務
- 1968年 6月 アメリカ合衆国渡航（派米農業研修生）
- 1979年11月 ハーバード大学大学院修了（政治経済学博士）
- 1980年 9月 筑波大学社会工学系 講師
- 1997年 4月 東京大学大学院法学政治学研究科 教授
- 2008年 4月 熊本県知事（2024年4月まで、4期）
- 2024年 4月 東京大学先端科学技術研究センター フェロー

座右の銘：夢限りなく～不可能を可能に
推薦図書：「私がくまモンの上司です」祥伝社、2014年

● 講義概要

夢限りなく ～不可能を可能に～

概要	逆境を乗り越えた人生経験を活かし、知事として熊本県の復興や産業誘致を進め、挑戦する県へ導いた。
講義の構成	<ul style="list-style-type: none">・ 講義/質疑応答・ グループワーク 「半導体の平和利用を考える」 付属資料：7/18 朝日新聞天声人語「トルーマンは指を鳴らした」
塾生コメント	<ul style="list-style-type: none">・ 夢限りなくの講義は遠い話のようで、とても身近に感じられたから、意欲的になれた。・ 話がとても分かりやすく、自分も頑張ろうと元気をいただけた。・ 本塾に応募する前から蒲島先生のファンで、蒲島先生にお会いするために参加したと言っても過言ではない。気さくにお写真を撮らせていただき内容も本当に感激した。
振り返り	<ul style="list-style-type: none">・ くまモンの上司である蒲島先生が、いかに夢を実現してきたかの熱意が伝わる講義であり、先生の「成功するためには、楽観的になること」の言葉が、塾生の心に響いた講義であった。・ グループワークでは、「半導体」を難しく捉えがちだったが、平和への手段と伝えれば議論が円滑に進んだ可能性があったと反省。

2-6 実施結果 ～ DAY3 『夢限りなく』 不可能を可能に ～



2-7 実施結果 ～ DAY4 個人発表 ～

● テーマ「もし魔法の杖があったら、あなたはどんな未来を創りますか？」



夏期合宿の集大成！
塾生一人ひとりが3泊4日の学びを通してスピーチを実施

熊平理事 講評（テーマ発案者）

誰も正解を語ろうとしておらず、自分を堂々と表現していたことがとても印象的でした。

「魔法のスティックはいらない。世の中はそれほど単純ではなく。新たな課題を生むかもしれないから」と語ってくれた人、「鳥と会話できる社会。きっと地震など鳥に教えてもらえるはず」、「みんながはじめの一步を踏み出す勇気を持てるように」、「自分の行動で未来が変わられる社会」、「世の中のよいことを10倍に、悪いことは減らす。そのために人の心に魔法のスティックを使う。思いやりの心に根ざした行動が増えれば、いいことが増えるはず」、「言葉の壁をなくすために」、「全ての子どもが同じスタートラインに立てるように」、「福島の子力発電所を東京に持ってくる」、「ドラえもんはどこでもドア」、「戦争をなくすために」、「全ての生き物の夢が可視化される世界」等々本当に素敵な発表でした。

とても個性的な発表ばかりだったので、なぜそう思ったのか、もっと背景が伺いたくなりました。

参加者の皆さんの最後の発表にもプログラムの成果が出ていたと思います。

プログラムの構成も、講師の選定もとても良かったと思います。参加者の人生を変えるプログラムになっていたのではないのでしょうか。一人ひとりが自分を見つめたり、他の参加者から刺激を受けて色々なことを考える貴重な機会になりました。その成果が発表に現れていたのではないのでしょうか。

● 講義概要

個人発表 もし魔法の杖があったら、あなたはどんな未来を創りますか？

要旨	合宿に参加する前に考えていた「魔法の杖」が、講義・グループワーク・夜間パートを通じて、自分の考えていたことに変化があったか、あるいは変化せず自分自身の考えに自信を持ったかどうか等を発表する。
講義の構成	<ul style="list-style-type: none">• DAY1 自分の「魔法の杖」をチームメンバーにプレゼンし、他者の考えを知る• DAY2 SDGsのカードゲームから、社会問題はたくさんあること、その解決方法を無限にあることを知り、「自分の魔法の杖」の再考察する• DAY3 個人発表に向けて、プレゼン資料作成• DAY4 合宿の集大成としてのアウトプットを実践
振り返り	<ul style="list-style-type: none">• 発表準備ができない塾生に対して、サポーターが最後まで1対1で丁寧に向き合い、発表への意欲を引き出した姿を見て、合宿が有意義だったと感じた。• 合宿を通じて大きく変化した塾生は少なかったものの、自分とは異なる視点を持つ塾生の発表を聞くことで、普段の環境では得られない価値観に触れることができた。その経験を通じて、自分自身を内省するきっかけを得られたことが、成長につながったと感じている。

2-6 実施結果 ～ DAY4 個人発表 ～



3. アンケート結果

3-1 実施報告 ～ アンケート結果サマリー：塾生 ～

2025年度 夏期合宿 塾生アンケート Summary

参加人数

24
人

アンケート回答数

24
人

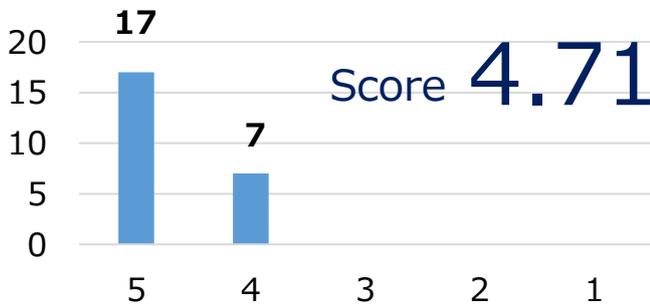
アンケート回答率

100
%

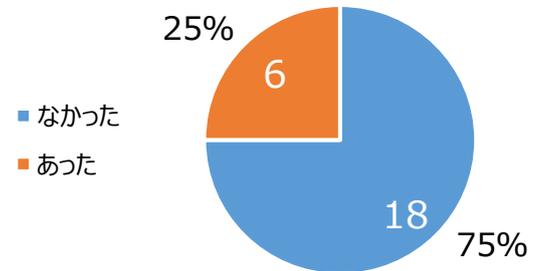
合宿満足度

4.71
/5

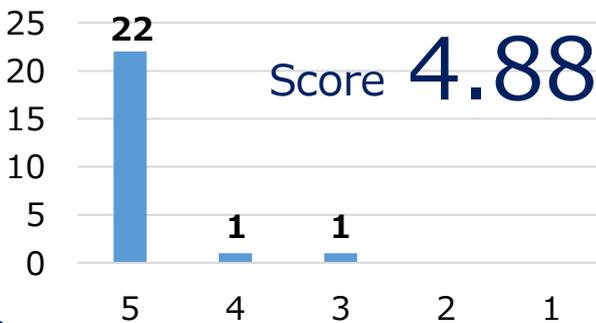
本合宿における満足度はどの程度でしょうか
※高5-1低



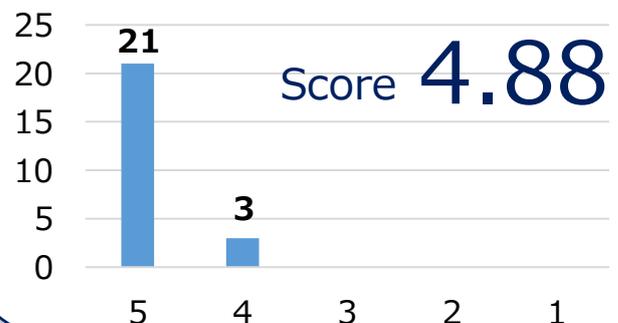
合宿中に困ったことや不安に感じたこと、
または改善点はありましたか？



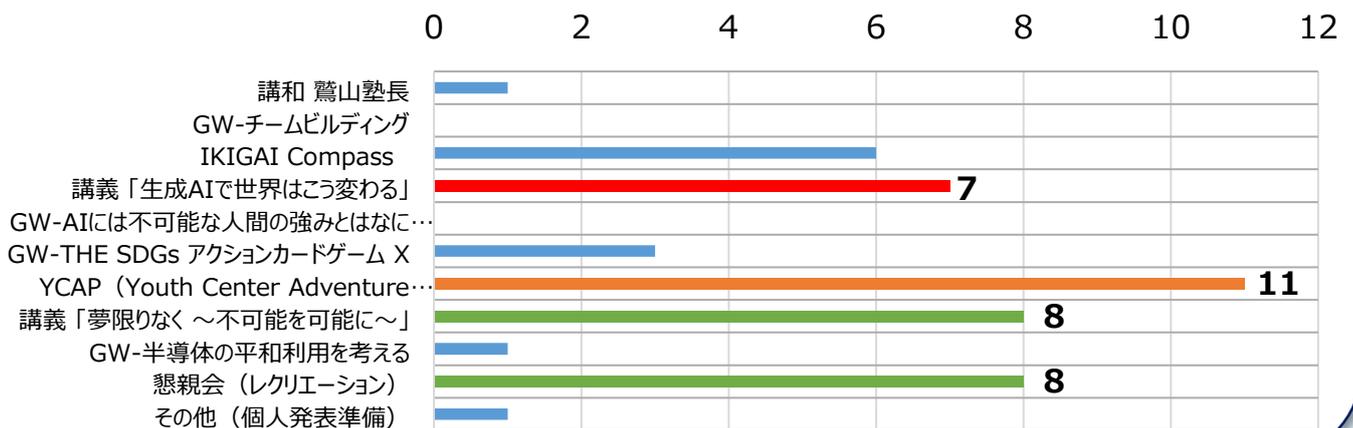
大学生サポーターの対応は
いかがでしたでしょうか。 ※高5-1低



事務局の対応はいかがでしたでしょうか。
※高5-1低



印象に残ったプログラムをお聞かせください。 ※2個まで



コメント回答一覧 ①

Q. 印象に残ったプログラムをお聞かせください。※2個まで

講和 鷺山塾長

- ・考えるための基礎となる思考に触れることができたことが、大変興味深いものだった。

IKIGAI Compass

- ・自分の価値観を考えることが好きなので、深められたし知らない自分もあって楽しかった。講師の方が楽しそうに話しているところも楽しい、明るくなる。
- ・将来に一番影響を与えられました。これからあいさつします！
- ・自分の強みや気づきを本質的な部分で深ぼれたため
- ・自分の考え方の癖を知るといふ新しい発見ができた
- ・川島先生がご講義の外でも親しく話して下さった。内容も高1として進路を考えるのにとっても有用なものばかりだった。

講義「生成AIで世界はこう変わる」

- ・今井翔太さんに会えて嬉しかったから。荘厳な雰囲気や言動に感銘を受け、AIについてさらに興味を持てたから。
- ・生成AIについては、自分の興味をもっている分野であり、ずっと聞きたいと思っていたし、想像以上の講演だったから。
- ・生成AIについての“今”を知る面白いものでもあった
- ・AIに関して、研究の第一人者のお話を聞けたから。
- ・最新技術進歩の動向をしれて面白かった
- ・今井さんの講義は、今まで触れてこなかった世界についてくわしく教えていただけて、とても面白かった。
- ・元々今井翔太さんをしていて。

GW-THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス)

- ・SDGsのはアイデアを作りだして、ストーリーをつくったり、げきで入りこんだのが楽しかった。
- ・おもしろくていろいろ学べたから。

YCAP (Youth Center Adventure Program)

- ・この2日間よく目にしてはいたけど全く使い方がわからなかったものを使い実際に体を動かさせることが印象に残った
- ・チームのメンバーと協力して高度な課題に取り組むことでメンバーの考え方の変化を見られて楽しかったから。
- ・約4日間の中で唯一の身体をたくさん使った、プログラムだったので楽しかったし、みんなで協力できたから。
- ・YCAPでは一見不可能と思われたことでも協力したり、声をかけたりしてたっせいすることができたから
- ・みんなで協力して工夫してチームの中が深まっているのを感じた。
- ・YCAPはとにかく楽しかったです。チームワークも深まったし、尊敬する部分を見つけたりしたのが大きかったです。
- ・聞いたことない「YCAP」で、事前に野外ときいていて楽しみにしていたのですが、実際やったら、他のチームの人とも仲良くなれたし、はじめてやることだし、いきなり団結力が強まって楽しかった。
- ・YCAPは、協力し合い確実に仲が深まって体も動かせたので楽しかった。
- ・YCAPでは、友情を深めることができたから。

コメント回答一覧 ②

Q. 印象に残ったプログラムをお聞かせください。※2個まで

講義「夢限りなく～不可能を可能に～」

- ・彼の子供時代についての講義をきいているとき、私はとても感動しました。彼は慎ましい家庭環境で育ちましたが、日本だけでなく海外でも多いことを成し遂げました。
- ・半導体の利用はこれからの社会で最も新たな可能性が秘められていると思ったから。
- ・夢限りなくの講義は遠い話のようで、とても身近に感じられたから、意欲的になれた。
- ・話がとても分かりやすく、自分も頑張ろうと元気をいただけただけのため
- ・「楽観的に生きていい」と思えたから。
- ・本塾に応募する前から蒲島先生のファンで、蒲島先生にお会いするために参加したと言っても過言ではない。気さくにお写真を撮らせていただき内容も本当に感激した。
- ・先生がどのように生きてきたかを聞いて、すごく努力をして、一度はチャンスを逃したように思えても、夢を見失わないことで 新たなチャンスをつかむことができたということに感動した。また、知事になってからも知力や理論を活かした地域づくりをしていて、合理的で良いと思った。

懇親会（レクリエーション）

- ・こんしん会は楽しかった！
- ・懇親会はなによりも楽しかった！ サポーターの大学生だけでなく事務の大人の方々とも話せて良かったから。
- ・3泊4日でも、みんなの仲がとても深くなったため
- ・懇親会では、班のみんなと協力して楽しくとりくめたから。

Q. 合宿中に困ったことや不安に感じたこと、または改善点はありましたか？

【なかった】困ったこと・不安・改善点

- ・困ったことがあれば極力自力で解決したいので私の中ではそれを不安や困ったこととは言えない
- ・ないです！
- ・不安や困惑はなかった。
- ・このプログラムはとても楽しく、4日間にあたって自分自身業界、そして高校生仲間について多くのことを学びました
- ・事務の方やサポーターの方、講師の先生など、本当に私たちのために良い機会をたくさん迎えてくれて貴重な時間だったから。
- ・全てのコンテンツに満足したから。
- ・特に不安に思ったことがなかったから。
- ・友達がみんな優しく不安に感じたことはない
- ・満足だから！
- ・不安はなかったです！
- ・特に大きなトラブルもなく、フィニッシュできたからです。
- ・みんなで協力して心地良い環境に出来たから。
- ・事務局の皆様、サポーターの皆様にドクターの方々が常に健康に目を配って、また積極的にコミュニケーションをとって下さり、4日間楽しく安全に過ごすことができた。
- ・サポーターや事務局、オリンピックセンターのスタッフさん、塾生の仲間たちのサポートがあったから。
- ・問題なく毎日過ごせた。

コメント回答一覧 ③

Q. 合宿中に困ったことや不安に感じたこと、または改善点はありましたか？

【あった】困ったこと・不安・改善点

- ・207の部屋に黄色のしみ？あって不気味じゃっかん
- ・消灯が早くて、ドライヤーとか終わなくて、、、
- ・もう少し遊ぶ時間が欲しかったです。消灯22:30くらいだと交流深まるかなと思ったからです。
- ・講義が少し長かった。虫が多い
- ・お風呂に入りたかった。
- ・できれば、講義をしてくださった人たちと一対一で対談？をしたかった。

Q. 大学生サポーターの対応はいかがでしたでしょうか。

① 親しみやすさ・話しやすさ

- ・すっごくフレンドリーだったこと。
- ・めっちゃ関わりやすい。明るくて話しやすくてさいこうでした。アドバイスもてきかくだし、ときにはおもしろくてかんしゃです。
- ・距離をかんじなくて、話しやすかった
- ・サポーターの方は大学生の方が多かったため親しみやすかった。また、元気で明るく毎日接してくれてこっちも元気をもらった
- ・年齢に関係なく、ニックネームで呼ばせていただき、いつも気さくで楽しいグループ作りにご尽力下さった。
- ・特に大きなことはないですが、サポーターはみんな親切でした。

② 相談・助言・サポートの手厚さ

- ・自分が大学について聞いた時、親身に相談に乗ってくれたから。
- ・自分が不安に思ったことをすぐに相談できたから。
- ・分からないところを聞いたのも良かったけれど、ごほんの時間に進路について話すことができ良かった。勉強になった。
- ・作文などをより深めるために、たくさんアドバイスをくださり、質問も投げかけてくれて、自分の思いに自信を持った。
- ・質問などにすぐ答えてくれたり、サポートしてくれてとても助かった。
- ・やさしくガイドしてくれた。
- ・一人で悩んでるとき、声をかけてくださったこと

③ アイデア・思考のサポート

- ・話し合いの際には、アイデアが出るように声かけをしてくれた。本気で向き合ってくれた。
- ・正解がない、どんな意見でも出していいと言われてたり、他人の自分の意見や行動へのフィードバックをされたりして新鮮でうれしかった。
- ・わたし達が変わらなくなったときに、すぐに教えるのではなく、一回自分たちで案を出してみようとアドバイスしてくださったことで、考える力がきたえられた。
- ・チーム名を決める際にのぶさんが描いたクリオネを見てかなり緊張が解けた。他にも、議論が詰まる度に的確に、客観的なアドバイスをして頂いて、とても助けになった。

コメント回答一覧 ④

Q. 大学生サポーターの対応はいかがでしたでしょうか。

④ 個別の交流・印象的なエピソード

- ・山中さんとたくさん関わりました。自分のノリに合わせて接していただき、とても過ごしやすかったです。かつ、メリハリがしっかりしているなと思い、見習おうと思いました。
- ・3日目の夜に大学のことや趣味について聞き、交流を深められて楽しかったです。
- ・丸山さんは素晴らしいサポーターでした。アイデアを出す方法についてアドバイスをくださり、私の作文の間違った日本語も直してくれました。話していても楽しい方です。
- ・3日目の自分のスピーチを作る時間で、アドバイスやアイデアを一緒に話せたこと。／お昼の時間。
- ・起業のヒントを事務の方からもサポーターの方からもたくさんもらえて、前の自分より大きく変わりました。

Q. 事務局の対応はいかがでしたでしょうか。

① 優しさ・寄り添い・親身な対応

- ・とても優しくかったです。
- ・みなさん優しく、寄り添ってくれたこと。
- ・自分のペースに合わせて臨機応変に対応してくれたこと。
- ・体調が悪くなったときに親身に対応してくれた。
- ・プログラムを楽しんでくれて嬉しかったと泣いてしまっていた時に、とってもよく考えて試行錯誤して考えて下さったと思い、感動しました。
- ・事務局は日本語で私を助けてくれました。
- ・積極的にコミュニケーションをとってくれた。

② 運営の丁寧さ・スムーズさ

- ・登壇する人の紹介や対応が適切でミスなく速やかだった。
- ・宿泊前からメールを定期的を送ってくださって、安心して宿泊当日を迎えることができました。
- ・各所で次はどこかなどのアナウンスが入ったから。
- ・進めぐあいとか管理とかもしっかりしていて動きやすかった
- ・手ねいなスケジュールリングで、とても分かりやすかった
- ・細かなところまで運営がいきとどいていて、濃密なスケジュールリングだった
- ・いつも、集合の時間などを声かけしてくれた。
- ・カギがなくて困ったとき助けてくれた

③ 見えないところでの支え・裏方の努力

- ・私たちのことを見えるところで見えないところでも支えてくれていて私たちもやりやすかった。
- ・毎日みんな元気に過せるためがんばってくれた。
- ・ガッキーが2日目に泣いてくれてすごく考えてくれたんだなと思いました。講義もふつう会えない人に受けられたりしてサイコーでした。
- ・あまり関われる機会がなかったけど、2日目で石垣さんが泣いていたのが印象的だった。
- ・ガッキー、合宿前から大変お世話になりました。シゲちゃんナイス進行です。アベちゃん、とても大きな声で全体を盛り上げて下さりありがとうございます。ディスカッションがつまったときも助かりました。ママ、いつも笑顔で見守って下さり気持ち明るくなりました。
- ・サポーターさんでも難しいことをディスカッションするときにすごく力になってくださって、まとめられたことが印象に残った。大人だけど私たちと一緒に楽しんでいる姿が印象に残ったし、一緒に楽しむことができ嬉しかった。

コメント回答一覧 ⑤

Q. 本合宿におけるご意見やご感想、またはご要望など自由にお寄せください。

① 全体の満足・感謝の声

- ・自分を変える合宿になりました。ありがとうございました。
- ・とっっても楽しいです！！本当に参加してよかったなと思っています。ありがとうございました。将来エースになります！！
- ・とても楽しかったし、学びが多い4日間でした。また参加したいけれど、高校は3年間しかないのが悲しいです！でもまた活動に関わってみたいです？
- ・面白い講義等受ける機会を提供していただき、ほんとうにありがとうございました。
- ・自分の成長を実感できました。ありがとうございました。
- ・本当に楽しかったです。

② 交流・人とのつながり

- ・この3泊4日は本当にあっという間でした。こんなにも同級生にも先輩にも、そして事務局やサポーターの方とも仲良くなれると思っていなかったのが本当に寂しすぎます、、、でもやっぱり1番は出会えて良かったです！最高の思い出と経験をしっかり身にきざんで、キャリアアップします！短い間でしたが、ありがとうございました！きらめき未来塾のみんなが大好きです♡♡♡
- ・本当に多様な価値観の人と出会えて楽しかったです！！
- ・全国から集まった仲間たちと4日間じっくり色々なトピックについて話せて楽しかった。特に原子力のことについて話せたことが良かった。

③ スケジュール・運営に関する意見

- ・スケジュールはかつかつで暇なく過ごせてその忙しい感じが良かったです。
- ・消灯時間がもう少し遅かったらいいのになあと思った。
- ・内容も運営の皆様も本当に凄いなと思います。たくさん良い経験をさせていただきました。最終日の僕、初日よりきらめいていましたか？1点だけ、時期が夏休み後半で、ちょっと予定を空けるのが大変でした。
- ・未来塾の応募の際、もっと大学生サポーターのことを知らせていただけるともっと良かったと思った。長ズボン忘れちゃって本当に申し訳ありませんでした。洗剤などありがとうございました！！

④ 学び・講義に関する感想

- ・自分のような勉強のレベルがあまり高くないが、人と関わるのが好き、意欲がある人はとても勉強になる合宿だと思いました。ありがとうございました。
- ・いつも「テレビで見ている人」の話を聞けるというのが、とても貴重で楽しい時間でした！ありがとうございました。

⑤ プログラム構成への要望

- ・グループワークは多かったけれど、他のグループとの関りは一切なかったため、特定の人だけとなってしまったこと。

番外編

塾生ご両親からのご感想

男子塾生（2年）のお母さまからのお声

★お礼状★

先生方 スタッフの皆様 サポーターの皆様

この度は、息子をきらめき未来塾に参加させていただきありがとうございました。大変お世話になりました。

とても刺激になったようで、帰りの道すがら、経験したことをいろいろ話してくれました。普段の生活では知り合えない他校の同世代の学生さんたちと、素晴らしい先生方や運営を温かくサポートしていただけるスタッフの皆様や大学生のサポーターの方々に親切にご指導いただき、本当に貴重な体験ができたようです。勉強以上に大切なことが学べた。こういう機会がもっとあればいいのにと興奮気味に話してくれました。自分がいかに小さな世界にいたのかを、気づくことができたようです。

交流しながら学んだことは、高校2年生で今後の進路を考えるうえでも大きな励みになると思います。

お忙しい中、温かくご指導・ご支援いただきましたことに改めて心より感謝申し上げます。
どうぞ皆さまのご健康と今後のご活躍をお祈りいたします。

女子塾生（1年）のお母さまからのお声

先日は「きらめき未来塾」で、娘が大変お世話になりました。ありがとうございました。
大変学びの多い時間になったようですので、感想を共有させていただきます。

IKIGAI Compassを中学生の頃に受けてから3年経ち、今回改めて受けてみて、自分の考えが思った以上に硬くなっていることに驚いたそうです。グループでの対話を通じて「なるほど」と思う場面が多く、もっと頭をやわらかくする必要を感じたとのこと。

好きなこと・得意なことも変化し、以前より明確になっていたようです。全体を通じて「自分を見つめ直す」機会になり、社会に一步步近づいていることを実感できたと話していました。無意識を意識に変えながら、高校生活や勉強、部活、進路にも取り組んでいきたいとのことでした。

改めて、安全で楽しい環境での貴重な学びの機会をいただき、心より御礼申し上げます。

塾生から合宿後のご感想

女子塾生（1年）ご本人からのお声

きらめき未来塾の皆様

3泊4日間ありがとうございました。この合宿を通して、私にはこれから自分が進みたい道が決まりました。この経験をスタートに、これからも頑張っていきたいと思います。暑い日が続きますが、お体ご自愛下さい。

3-3 実施報告 ～ アンケート結果サマリー：サポーター ～

2025年度 夏期合宿 サポーターアンケート Summary

参加人数

9

人

アンケート回答数

9

人

アンケート回答率

100

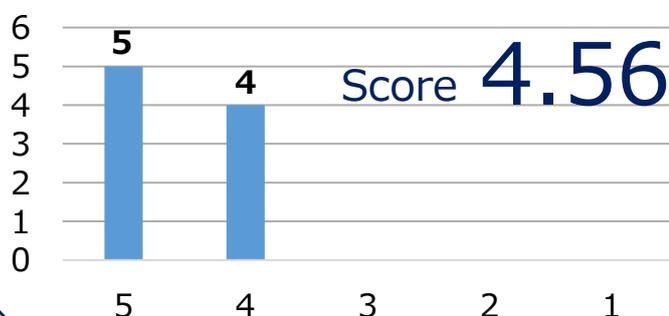
%

合宿満足度

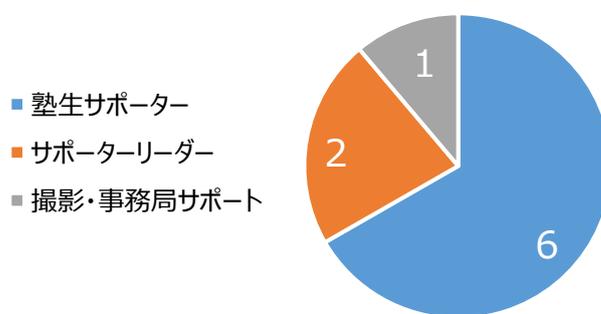
4.56

/5

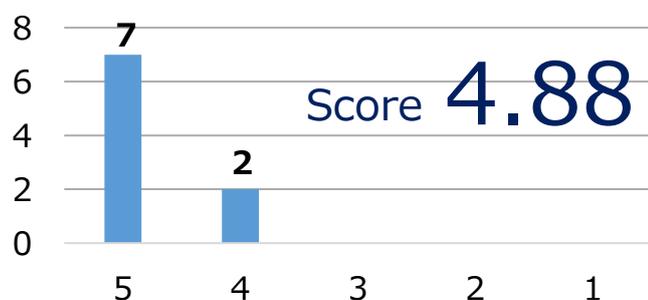
本合宿における満足度はどの程度でしょうか
※高5-1低



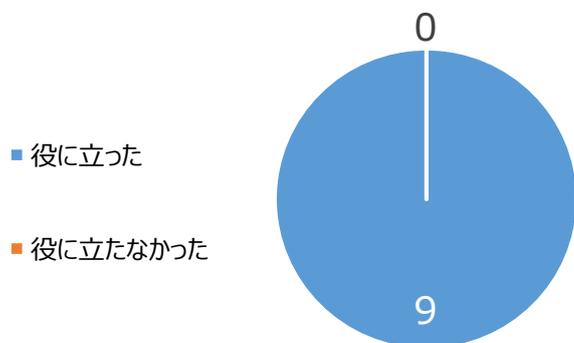
本合宿における役割をお聞かせください。



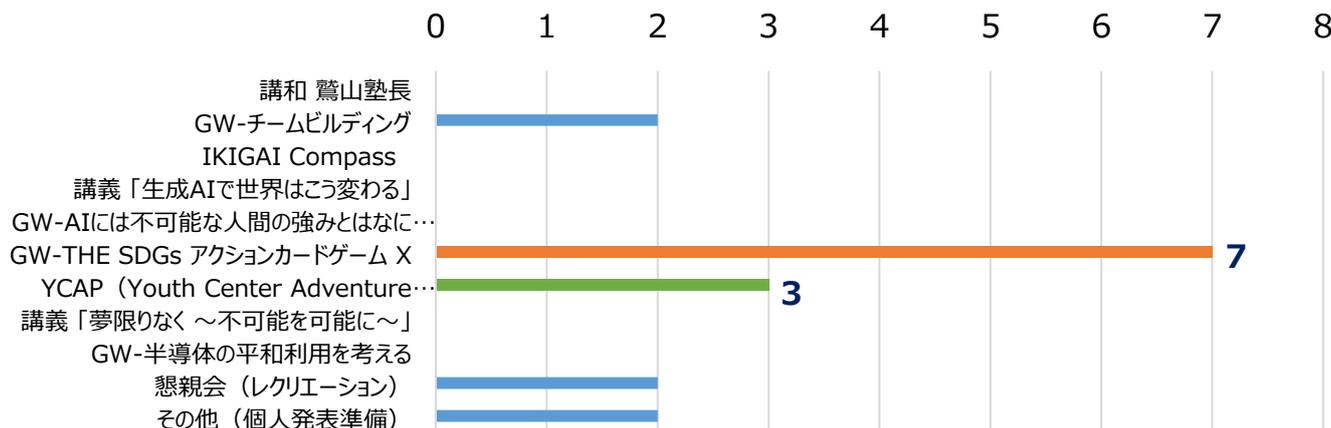
事務局の対応はいかがでしたでしょうか。
※高5-1低



事前研修は役に立ちましたか？



印象に残ったプログラムをお聞かせください。※2個まで



コメント回答一覧 ①

Q. 塾生との関わりで印象に残ったことをお聞かせください。

① 塾生の成長に関する感動・達成感

- ・塾生の成長を間近で見ることができたことによる達成感。またやりたいと思った。
- ・チクチクゲトゲしていた性格が柔らかくなったり、調和力が高すぎた塾生が積極的にファシリや発表を行うようになったりと、班員4人それぞれの成長が見られて印象に残った。
- ・比較的高い資本を持つ子どもの成長速度の速さ
- ・1人の塾生についての話であるが、第1回目の個人発表準備の段階では、高校1年生で「起業したい」という志の高い目標を掲げている一方で、その言葉の中には「してみたい」や「できたらいいな」といった、どこか他人事で自身や覚悟を感じられない話し方であった。しかし、4日間を通して自分の強みを理解し自身をつけ、やりたいことを見つけ覚悟ができた最終発表では、「やります」といった言葉から自信と覚悟を感じる発表に代わっていたこと。

② 関わり方・サポートの難しさと工夫

- ・サポーターとしてどこまで介入するか線の引きが難しかったが、意味ある行動を促すよう意識した。個々の特徴に合わせた接し方を心がけ、信頼関係を築けた瞬間が嬉しかった。
- ・発表準備の質問が夜遅くまで続き、発表前日は2:00~3:00まで頑張っていた。3日目はあえてサポートを控え、失敗も含めて学びと捉えた。問いかけを通じて考えの発散と収束を促す訓練になった。
- ・ミスサポートをどう捉えるかということ
- ・届けたい価値に縛られないかということ
- ・明確なリーダーがない中での組織運営

③ 塾生の個性・思考への対応

- ・各塾生がユニークな個性を持っており、それぞれの思考性に合わせて対応や問いかけを変えた。
- ・3日目の夜、魔法の杖について個別相談を受けた際、その塾生のバックグラウンドや問題意識を深く感じ、一緒に魔法の杖を見つける作業が印象的だった。

④ 塾生の表情や態度の変化

- ・塾生が最終日の朝、充実した表情だったことが印象に残った。

コメント回答一覧 ②

Q. サポーターとしての役割を通じて、得た学びや気づきがありましたか？

① サポートのあり方・介入に関する気づき

- ・「世話をする存在ではなく、あくまでサポートする立場」という同期の意見にハッとさせられた。
- ・サポートしすぎないことが塾生の成長につながると学んだ。最初は心配で口出ししすぎたが、途中から見守る姿勢に切り替え、塾生の自立した姿に気づいた。
- ・プログラム全体には意図的に距離を置きつつ、担当グループには近い距離で関わった。関わり方のバランスを模索する中で、自分の強みや課題を認識できた。
- ・高い資本を持つ子どもたちとの関わり方(情報を与えるか、思考を与えるか)
- ・教育分野以外に知見がある大学生が高校生に届けられる価値
- ・僕らサポーターが行うことの範囲について
- ・サポーターリーダーとして、それぞれのサポーターに干渉しすぎた瞬間が何度かあった。
- ・塾生との会話の中で得た学びとしては、高校1年生から3年生で理解力や知識量が大学生の2年間とは大きく異なる点である。特に、何か経験のあるサポーターほど横文字や難しい熟語を当たり前に使ってしまいがちであるが、当たり前知っているかのように話された内容に対して、「わからない」と言えない高校生が多かった印象。

② 他のサポーター・事務局からの学び

- ・他のサポーターや事務局の関わり方、話し方、言葉の使い方、目的意識などから多くを学んだ。
- ・他のサポーターのチームのまとめ方を見て、自分にはないやり方から学びがあった。同じ物事でも感じ方が異なることに気づき、方針決定時の優先順位の視点が重要だと感じた。
- ・サポーター同士で学び合う姿勢
- ・他サポーターとの違いが生み出すメリットデメリットについて

③ 問いかけ・リーダーシップに関する学び

- ・問いかけることの重要性や、サーバント型リーダーシップの姿勢を学んだ。
- ・問いを通じて問題を引き出し、解決するだけでなく、一緒に創作する仲間として関係性を築くことの大切さを実感した。
- ・ロールモデルの構築について

④ 関係性の構築に関する実感

- ・まっすぐに向き合うことで、プログラム中も後も関係性が構築できることを強く実感した。現在も壁打ちの相談が来る。
- ・短期間での信頼関係の構築について

コメント回答一覧 ③

Q. 他のサポーターとの連携やチームワークについて感じたことはありますか？

① 連携・コミュニケーションの良さ

- ・仲良くなる速度が非常に早く、良好な関係を築けた。
- ・お互いにこまめに連絡を取り合える環境があり、安心して取り組めた。
- ・学生サポーターLINEでは詳細な情報共有がされていて、安心感があった。
- ・よくコミュニケーションできていたと感じた。
- ・ミーティングで情報のすれ違いを共有し、改善策を話し合う流れができていて助かった。迷いや気づかなかったことも共有できる機会だった。
- ・よく報連相はできていたかなと思います。初日/2日目と課題は出ましたが、話し合って修正できた点がよかったです。初めからなんでもかんでもうまくいく組織はないですし。
- ・とてもいいチームであったと感じている。まず、コミュニケーションの回数が多かったこと。わからないことや知らないことはすぐに聞き、反対に知らない人にも伝える姿勢が常に全員の学生にあった。

② チームワークの成長と役割の理解

- ・4日間でチームワークが大きく向上したと感じた。最初はリーダーがどこに入るべきか迷っていたが、徐々にチームサポーターのヘルプにうまく入れるようになった。
- ・それぞれが常に全力で塾生に向き合っていたこと。ミーティングでもより良い環境を塾生に提供するために全員が発言し、改善していこうとする姿勢はこのメンバーであったからこそこだわり続けられたのだと感じている。

③ 改善の余地を感じた点

- ・強いて言うのであればヒヤリハットになりうるなどは思います。(詳しくはハインリッヒの法則を見ていただきたいです。ご存知であればすみません。) ある事象に対してどのくらい危機感を持つかは人それぞれなので、報連相の基準としてもっと明確なものがあるといいなと思います。もしくはそのハードルを下げ、共有依頼の周知を強化するなど。

④ 個人的な葛藤

- ・素敵な時間と思い出をつくれた一方で、顔見知りが多い中に入っていくのが難しかった。

コメント回答一覧 ④

Q. 印象に残ったプログラムをお聞かせください。※2個まで

GW-THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス)

- ・自分も全力で取り組むことができ、気持ち的にも充足感があったから。
- ・ゲーム的要素が強いが、楽しみつつも学べるが多かったから。また、どちらもチームの絆が強まるきっかけとなり、その様子を見て純粋に嬉しかったし、面白かったから。
- ・繋がらないよ〜と悩みながらも発表に向けて、内容を考えていく姿を見て、サポートの仕方を考えたり、チームのみんなが良い！となる解決方法を考えるのが良かったため。
- ・各チームごとの仲が深まっただけでなく、運営メンバー含め全体としての一体感が増したから
- ・チームごとにまとまる進捗が違っていたものの、SDGsのカードゲームでどのチームも一気に打ち解けていたように感じ、印象に残っている。
- ・明確に1つの目的に向かっていくことができる
- ・ゲーム形式にすることで盛り上がりが発生する
- ・意見を出しやすい場
- ・多少無理やりでもいいから、とりあえず終わらせる、そこに意味を持たせることの意義

懇談会 (レクリエーション)

- ・目の前の塾生が納得いくまで向き合う続けることができたと思うから。
- ・身体を動かさず中で頭を動かすという話
- ・スポーツの持つ力の大きさを改めて感じた点

GW-チームビルディング

- ・個性の把握をすることができて、どんな風に対応して、どんな風に変われるのか（可能性）を考えることができたため。
- ・班それぞれの個性が強く出ていた。また、チームサポーターのサポートの仕方にも個性があり、今後自分がチームの一員としてアシストする場面があった時の参考になるものも多かった。

YCAP (Youth Center Adventure Program)

- ・ゲーム的要素が強いが、楽しみつつも学べるが多かったから。また、どちらもチームの絆が強まるきっかけとなり、その様子を見て純粋に嬉しかったし、面白かったから。
- ・YCAPを通して、より仲が深まったと感じたから。

個人発表準備

- ・目の前の塾生が納得いくまで向き合う続けることができたと思うから。
- ・1人1人の塾生それぞれのバックグラウンドや性格、趣味趣向が「魔法の杖」で変えたい社会を表現していて、とても興味深かった。また、それぞれに合わせて塾生の特徴を引き出していくことに苦戦しつつも、サポーターもやりがいと達成感を感じる内容であったため。

コメント回答一覧 ⑤

Q. 事務局との関わりで印象に残ったことをお聞かせください。

① 事務局メンバーからの学び

- ・阿部さんのマネジメント力、しげちゃんのファシリテーション力と盛り上げ力、石垣さんの調整力、鍋島さんの気遣い力など、事務局の方々から多くを学んだ。
- ・サポーターとして初めての活動でも、ミーティングで運営側の視点を提供してくれたり、会話の方向性を修正してくれたり、説明の仕方に工夫があったりと、心強いサポートをしてくれた。
- ・話すことが得意ではない自分にとって、話し方の技術を学ぶ機会になった。
- ・事務局の皆さんの個々の役割を全力で全うされている姿勢に何度も力をもらいました。

② 対等な関係性・信頼感のある関わり

- ・学生ではなく、カメラマンとして対等なプロジェクトスタッフとして関わってくれたことが嬉しかった。
- ・敬語とタメ語が混ざっても気にせず、叩き合える関係性になれたのが嬉しかった。初対面にも関わらず親しく話してくれ、サポーターの意見も聞いて臨機応変に対応してくれたことで、やる気が湧いた。
- ・まず皆さん、本当にご親切で、チームの団結力や仲の良さは皆さんの人柄のおかげだと強く感じています。

③ フィードバック・対応力の高さ

- ・合宿中も終了後も、細やかなフィードバックをもらえたことが印象的だった。自分が客観的にどう見えているかを知る貴重な機会になった。
- ・サポーターや塾生の質問・要望に素早く対応してくれた。組織として、対応方針をすぐに定め、多少雑でも結論を出す姿勢が良かった。

④ 関係構築における反省と気づき

- ・事務局側の関わり方をもっと早く引き出せていればよかった。模索段階であることを認識できず、途中まで「経験者としての関わり方」だと誤解していた。
- ・プログラム当日までの準備や不安、リスクへの向き合い方をもっと早く知っていたら、関係性の構築がよりスムーズだったかもしれない。

⑤ 具体的なエピソードと要望

- ・阿部さんに2日目の途中で発表者について声をかけてもらったことで、自分が届けたい価値に縛られすぎていたことに気づいた。
- ・AI使用に関する質問に即答いただけなかった点については準備不足と感じた。教育におけるAIの扱いが議論されている中で、事前協議がなかったのは残念だったが、メールでの迅速な対応には感謝している。

コメント回答一覧 ⑥

Q. 合宿中に困ったことや不安に感じたこと、または改善点はありましたか？

① プログラム構成・時間配分に関する意見

- ・YCAPは2日目に実施した方が、名前を覚えやすく、自己開示が進み、深い議論につながると感じた
- ・インプットが多く、学びを整理する時間が不足していた。振り返りの時間があるとより吸収できる。
- ・プログラム全体にもう少し「余白」が欲しい。特に「わたし」に立ち返る時間を確保することで、内面と向き合う機会が増え、アウトプットの質が高まると考えられる。
- ・グループワークの課題内容を事前に知っていれば、議論がよりスムーズに進んだと思う。
- ・朝早いです^^
- ・眠気覚ましも込みで講義途中に質問タイム作るのありかと。プチ休憩の意味合いも兼ねて。
- ・改善点は、Ycapは2日目の午前中に行えると、より塾生内やサポーターとのコミュニケーションの回数も増えると感じた。

② 特に困ったことはなかったという意見

- ・こまめに質問や相談ができる環境だったため、困ったことはなかった。
- ・いつでも相談できたので不安はなかった。ありがとうございました。
- ・特になし。

③ 設備・準備に関する課題

- ・カメラのSDカード容量（32GB）が不足した。
- ・割とその場凌ぎの対応が目立っていた印象があります。準備することが多いのは理解していますが、教室のレイアウトなどは 事前に確定しているとなお良いと思います。

④ コミュニケーション・呼び方に関する改善点

- ・サポーターが塾生からあだ名で呼ばれていないことが気になった。サポーター・事務局同士ではあだ名で呼び合っていた印象がある。

⑤ 懸念・不安に感じた点

- ・教育的な知見があるサポーターが多くなかったということ。
(だからこそ届けられた価値もあったので、こちら側での役割分担も必要だと思います)

コメント回答一覧 ⑦

Q. 事前研修は役に立ちましたか？

① 役立ったと感じた点

- ・1日目から導線を把握できたため、スムーズに動けた。
- ・サポーターとしての役割を各プログラムごとに事前に理解できたのが助かった。
- ・事務局・サポーターの顔合わせが事前にあったことで、安心して塾生のサポートができた。
- ・建物の構造を理解できたことが特に良かった。
- ・全体の大まかな流れを事前に知っていたことで、余裕を持って準備できた場面があった。
- ・概要を理解できた。
- ・事前研修で、最低限流れや役割が理解できていたのは、今回すごく助けられました。サポーター1人1人が指示やアドバイス等を塾生にする機会が多かったため、前提知識でのスケジュールや動線が頭に入っていたため、適切に効率よく指示が出せたと感じています。

② 改善の余地を感じた点

- ・正直なところ、オンラインでも良かったと感じた。

Q. 本合宿におけるご意見やご感想、またはご要望など自由にお寄せください。

① 楽しかった・充実していたという感想

- ・またやりたいぐらい楽しかった。アデコさんとも良いご縁に巡り会えたと感じている。
- ・サポーターでも塾生でも学べることが多く、魅力的な場だった。
- ・とても楽しかった。今回関わられて幸せだった。
- ・3泊4日ありがとうございました。
- ・4日間ありがとうございました。このご縁を大切にしたいと思える仲間と尊敬する社会人、そして頑張ろうと思わせてくれる塾生に出会えて感謝でいっぱい。

② 本合宿への評価と期待

- ・可能であれば、規模感をもっと大きくしていきたいと個人的に感じた。それは高校生にとってこれ以上ない自分を知り、成長できる機会であると感じたから。また、アデコの皆さん含め運営の方が準備してくださった研修資料やスケジュール表など、ここまで詳細にこだわって作られている団体企業は少ない。だからこそこのクオリティーが出せるのだと感じた。より多くの高校生に知ってもらい、参加してもらいたいと感じた。そのために必要であれば情報発信等のご協力させてください！ SNSや高校でのチラシの掲載等のご協力でしたら可能です！！

③ 初参加としての気づきと感謝

- ・サポーターとして初めてこのようなイベントに参加し、至らない点もあったが、運営の皆様と一緒にプロジェクトができて本当に楽しかった。貴重な機会に感謝している。今後ともぜひよろしくお願い致します。

4. 継続要因と運営課題

4-1 継続要因と運営課題 ～ 募集について ～

◎ 継続すべき点

1. 過去参加校へのアプローチ

- 過去参加校へ架電し、開催案内とポスター・パンフレットの送付を行う 特に私立高校が有効
 - 私立高校は学校推薦者が異動せず在籍している可能性が高く、反応が良い
 - 公立高校に比べて私立高校は自由度が高く、校内へのポスター掲示など積極的な高校も見られた

2. 無料ウェブサイトへの掲載

- サマースクール等のキーワード検索を行う高校生が多い 応募数を増やすためにも掲載は必要

3. 各自治体の教育委員会へのアプローチ

- 自治体の教育委員会への働きかけで、その地域の高校すべて周知される
- 東京都教育委員の都立・私立それぞれの教育委員会代表から、各学校長に働きかけていただいた

4. 理事の協力

- 学校関係者等へ直接のお声かけは効果が高い

5. 開催地の早期決定

- 学校や教育機関への案内も早期に行えるため、参加者の確保がしやすくなる
- 宿泊施設も早期予約で希望の部屋数や設備を確保しやすく、キャンセル待ちなどのリスクを避けることができる
- 開催地の設備（教室、ホール、自然環境など）に合わせて、学習・体験プログラムも早期に設計できる

△ 改善すべき点（課題・要望）

1. 募集開始時期

- 今年度は定款変更手続きが長引き、例年より遅い時期に募集開始となったため、学校への案内が遅れた
- 参加者数が確定するのが遅く、宿泊施設や食事、教材の準備がギリギリになり、事務局の負担が増加した

2. 募集媒体

- SNS等を活用するため法人でアカウントを取得し、運用を継続的に行い露出し続ける
- 無料サイトへの掲載について、2025年はお出かけ・レジャー関連のサイトへの掲載が多かったため、次年度以降は教育関連サイトを中心にした展開が望ましい

3. 募集方法

- 選考作文以外の応募書類を先行して提出させ、応募者数の見込みを図る
- 応募のハードルが高い選考作文は塾生の質を担保するが、集客には不利

4. 開催時期

- 今年度は「夏休みの後半であったため都合を合わせるのが大変だった」との声あり
- お盆休みを取得される講師も多いので、検討が必要

5. 企画・推進する人員の確保

- 夏期合宿の企画・推進の専任者を配属することで、余裕がある夏期合宿準備・運営を行うことができる

4-2 継続要因と運営課題 ～ 運営について ～

◎ 継続すべき点

1. 大学生サポーターの採用

塾生にとって精神的なサポートになり、学びの深まりも促進される

- ・「親しみやすく話しやすかった」、「進路相談に親身に乗ってくれた」、「アイデアを引き出す声かけが嬉しかった」
- ・「一人で悩んでいるときに声をかけてくれた」、「議論が詰まったときに的確なアドバイスをしてくれた」

2. 事務局の丁寧な運営・対応

丁寧な準備と対応を維持・継続することで、参加者の心身ともに安心・安全の運営を実現

- ・「優しく寄り添ってくれた」、「体調不良時に親身に対応してくれた」
- ・「スケジュール管理が丁寧で安心できた」、「見えないところで支えてくれていた」
- ・「事前のメール連絡で安心して参加できた」、「集合時間の声かけが助かった」

3. 多様なプログラム設計

知的な学び・体験型のアクティビティ・仲間づくりのバランスが良く、設計方針は継続する価値あり

- ・「塾長講和で考えるための基礎となる思考に触れることができた」
- ・「IKIGAI Compassで自分の価値観を深められた」、「進路に役立つ内容だった」
- ・「生成AIの講義が想像以上に面白かった」、「第一人者の話が聞いて感動した」
- ・「夢限りなくの講義で努力と希望を感じた」、「憧れが自分の力になると気づいた」

4. 交流・チームワークの構成

限られた時間の中で、多様な価値観・世代間の交流による新しい出会いや友情、刺激を得る

- ・「YCAPで協力し合って達成感があった」、「友情が深まった」
- ・「懇親会で事務局やサポーターとも話せて楽しかった」
- ・「全国の仲間と価値観を共有できた」、「多様な人と出会えて刺激になった」

△ 改善すべき点（課題・要望）

1. 時間・スケジュール 全体的なスケジュールへの余白の必要性

- ・「消灯が早くてドライバーが間に合わなかった」
- ・「講義が少し長かった」、「インプットが多くて整理する時間が足りなかった」、「振り返りの時間が欲しい」

2. コミュニケーション・関係性 塾生全体での交流方法とあだ名の活用方針

- ・「サポーターが塾生からあだ名で呼ばれていなかった」
- ・「他グループとの交流が少なかった」、「YCAPは2日目に実施した方が良い」

3. 事前準備と共有体制の強化 事前準備の精度向上と属人化の解消

- ・「グループワークの課題内容を事前に知りたかった」、「大学生サポーターの事前情報をもっと欲しかった」
- ・グループワークや役割分担、塾生からの要望に関する事前想定が不十分であった
- ・当日の運営が一部属人的になり、情報共有が不足する場面があった

4. 参加後のフォローアップ 学びの実践共有の場と、コミュニティの醸成

- ・学びの定着化まで踏み込むと、成果が次年度の広報価値にも直結
- ・なんらか合宿後の機会を創ることで、今後の募集やイベント、法人自体のPRにも寄与

4-3 継続要因と運営課題 ～ 運営費用について ～

◎ 継続すべき点

1. 公共施設での開催

- ・ オリンピックセンターのような公共施設を活用することで、民間施設より施設利用料、付帯設備費用や宿泊費が低廉
- ・ 公共施設は交通の便が良い場所にあることが多く、移動費の削減につながる

2. ガイダンス等作成物の内製化

- ・ 外注費を削減できる ※印刷製本は業者に依頼
- ・ 修正や更新が迅速かつ無料に対応できる

3. 講師費用

- ・ 講師の方々が、教育支援や次世代育成という事業目的に賛同し、通常よりも低い謝礼でも快くご協力いただく

4. 備品調達

- ・ プログラム内容を精査し、使用頻度や必要性を見極めたうえで、購入品を最小限に絞る
- ・ 事務局内での在庫確認や過去の使用実績をもとに、無駄な発注を回避する
- ・ 汎用性の高い備品を選定し、複数の場面で活用できるよう工夫する
- ・ 納品日を遅らせることで、急ぎ対応による追加料金や特急対応費を抑える

5. 経験者の知見活用

- ・ 過去の課題や改善点を踏まえ、スケジュールやプログラムを最適化することができる
- ・ 必要な物品・サービスの優先順位を的確に判断できるため、不要な支出を避けることができる
- ・ 運営上の無駄や非効率を事前に把握できる

△ 改善すべき点（課題・要望）

1. ガイダンス等作成物の発送料金の見直し

- ・ ガイダンス発送費用等すべて郵便としたので、費用が抑えられる手段の検討が必要

2. 備品の再利用

- ・ 前年度の備品が掛川にあり、流用できず新規購入が多かった

5. 次回に向けて

5-1 次回に向けて ～ 実施概要／広報・募集について ～

① 実施概要 案

1. テーマ案

現代的な課題意識をベースにしつつ、高校生が“自分ゴト”化できる言葉を意識する

- ・「未来をつくるリーダーシップと協働」、「“問い”から始まる未来づくり」
- ・「変化を創る力と、変化に向き合う力」、「“わたし”から社会へ 共創のリーダーシップ」等

2. 人数規模

◎ 塾生：最大 36名（+12名） ◎ 大学生サポーター：12～15名（+3～6名）

- ・ 1グループあたり4～6名構成であれば、合宿自体の質が維持できると思われる
- ・ 6 → 9グループへ拡張しても、施設・運営体制の対応が可能（オリンピックセンター等の会場規模を前提）
- ・ 多様性の向上（地域・学年・背景 等）にもつながる

3. プログラム内容

「自己理解」、「協働」、「社会課題」、「未来思考」等のキーワードを軸に構成

- ・ 例：IKIGAI Compass（自己理解）、生成AI（社会課題）、YCAP（体験・協働）、SDGsカードゲーム（体験・協働）、塾長講和（未来志向・社会課題）、夢限りなく（未来志向）等

4. スケジュール／タイムマネジメント（過密化の解消）

過密になりすぎず、塾生が学びを定着する時間の確保も念頭にスケジュールリングする

- ・ 「50-10設計」：講義・ワーク50分＋休憩・移動10分を1コマとした基本ユニット化
- ・ 各日2コマ分の“バッファ”配置：各15分（AM・PM）を固定配置。振り返りの時間も考慮し設計
- ・ 参加者目線の「休憩が十分」の比率：80%以上（アンケート項目に追加）

② 広報・募集 案

1. 広報施策

学校・SNS・口コミ・地域を掛け合わせ、6か月前から段階的に実施する

- ・ 学校連携：対象校に「説明資料＋過去参加者の声」を提供 → 元塾生、教員経由で生徒に届きやすくする
- ・ SNS発信：Instagram・X・Linkdin等で「参加者の声動画」、「1分合宿レポ」等の発信
- ・ Web掲載：学生向け無料イベントポータルサイトへの複数掲載
- ・ 友人紹介キャンペーン：「友達と一緒に応募で記念品」など口コミを活用
- ・ 地域連携：市町村教育委員会や地域新聞に情報（昨年実績＋当年実施概要）を提供
- ・ サポーター：大学生ネットワークを活用し、後輩・知人へ拡散。※SNS含む

2. 募集スケジュール

- ・ 10か月前：日程・テーマ決定、広報素材準備。※開催場所・企画の確定はそれ以前に必須
- ・ 8か月前：高校・教育委員会等へ周知、SNS告知・Webサイトへの掲載開始
- ・ 6か月前：夏期合宿実施説明会（オンライン/オフライン）の実施
- ・ 3か月前：応募締切（一次）、定員に満たない場合は延長募集。もしくは当初から2次募集期間を設定
- ・ 1か月前：参加者確定 → 事前オリエン動画配信、塾生・保護者への説明を実施

5-2 次回に向けて ～ 夏期合宿関連施策について ～

③参加後のフォローアップ・施策案

OB/OG・学校・地域との継続的な接点をつくり、“合宿で終わらない学び”を実現する

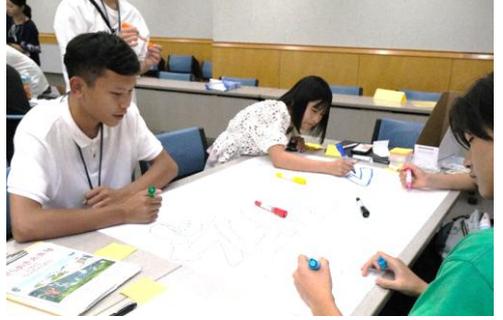
施策	内容	期待される効果
OB/OGとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン座談会（年2回） ・ 進路相談会 ・ OB/OGによるPR動画 ・ OB/OGによるメンター制度 ・ SNSでのOB/OG紹介シリーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な関係構築 ・ ブランド強化 ・ 再参加意欲の向上
関連イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春・秋の1日ワークショップ ・ 地域開催型ミニ未来塾（地方展開） ・ オンライン講義シリーズ（月1回） ・ 塾生・サポーター合同イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接点の継続 ・ 新規参加者の獲得 ・ 広報素材の充実
学校とのタイアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出張講義・教材提供（SDGsカードゲーム等）（過去参加塾生校をターゲット） ・ 教員向け説明会 ・ 学校推薦枠の設置 ・ 個人発表への審査参加の要請 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場との接点 ・ 信頼性向上 ・ 参加者層の拡大
地域連携・自治体協力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の教育委員会との連携 ・ 他NPOや他団体等との連携 ・ 地域企業との協賛 ・ 地域メディアでの広報展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域からの参加促進 ・ 寄付協力 ・ 社会的認知の向上

6. Photo Gallery

DAY 1 入塾式 / オリエンテーション / チェックイン



DAY 1 チームビルディング



DAY 2 IKIGAI Compass



DAY 2 生成AIで世界はこう変わる



DAY 2 THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス) ①



DAY 2 THE SDGs アクションカードゲーム X (クロス) ②



DAY 3 YCAP



DAY 3 夢限りなく ~不可能を可能に~



DAY 3 懇親会 ①



DAY 3 懇親会 ②



DAY 4 個人発表



DAY 4 卒業式



オフショット ① 食事



オフショット ② サポーター・事務局



ご支援いただきました皆様

● 協賛

東京都 生活文化局 私学部 私学行政課	東京都 教育庁 総務部 総務課
大阪府 高等学校課 教務グループ	兵庫県 教育委員会 高校教育課
兵庫県 総務部 教育課	広島市 教育委員会 学校教育部 指導第二課
福島県 教育委員会 高校教育課	福島県 総務部 私学法人課
矢板市長	那須塩原市長
株式会社コアネット	校外プログラム大全
東京都アントレプレナーシップ育成プログラム推進事業	

● 寄附

法人	大生ファミリー株式会社	北海道ファミリー株式会社
	株式会社日商エイジェンシー	内村物産株式会社
	株式会社千雅商事	株式会社宝清インターナショナル
個人	小林 靖男	田中 隆雅
	杉本 香世子	大竹 美喜
	赤城 巽	鈴木 静雄
	石塚 隆正	

サポーター/事務局

サポーター	有富 諒	芝浦工業大学
	大谷 七奈	埼玉大学
	鈴木 大輔	國學院大學
	関口 彩桜	東京都立大学
	寺西 詩音	國學院大學
	長谷川 汐音	国際基督教大学
	平田 絢音	明治大学
	丸山 乃武	法政大学
	山中 虹輝	東洋大学
事務局	鍋島 雅代	株式会社千雅商事 取締役
	阿部 宏行	アデコ株式会社
	平野 茂	アデコ株式会社
	石垣 幸代	アデコ株式会社
医師	田中 聡史	
	田中 隆雅	

役員一覧 (2025年5月時点)

名誉理事長	大竹 美喜	アフラック創業者 教育再生実行会議有識者メンバー
理事長・塾長	鷲山 恭彦	大日本報徳社 社長 東京学芸大学 第10代学長・名誉教授 公益社団法人 日本教育会会長
副理事長	平野 健二	アデコ株式会社 代表取締役社長
理事	赤城 巽	株式会社 F A E 代表取締役
	石塚 隆正	株式会社Global Ethics 経営研究所 代表取締役社長 国際連合DEVNET INTERNATIONAL 総裁顧問 元 東京三菱銀行 神田支社長
	内村 哲也	内村物産株式会社 代表取締役社長
	久保 信保	一般財団法人 自治体衛星通信機構 顧問 元 消防庁長官
	熊平 美香	一般財団法人クマヒラセキュリティ財団 代表理事 昭和女子大学ダイバーシティ推進機構キャリアカレッジ学院長 文部科学省 中央教育審議会委員 学校法人日本大学 顧問 元AFS日本協会 理事長
	小山 秀高	東京都立大泉高等学校・東京都立大泉高等学校附属中学校 進路キャリア部 非常勤教員 元 東京都立大山高等学校 校長
	鈴木 静雄	株式会社リプラン 相談役 日本居住福祉学会 関東本部長
	田中 隆雅	医師
	田中 千代美	株式会社千雅商事 代表取締役会長
監事	松田 康将	東京都議会議員
	下村 昇治	下村パートナーズ税理士法人 代表社員

(五十音順)



特定非営利活動法人

きらめき未来塾

2025